



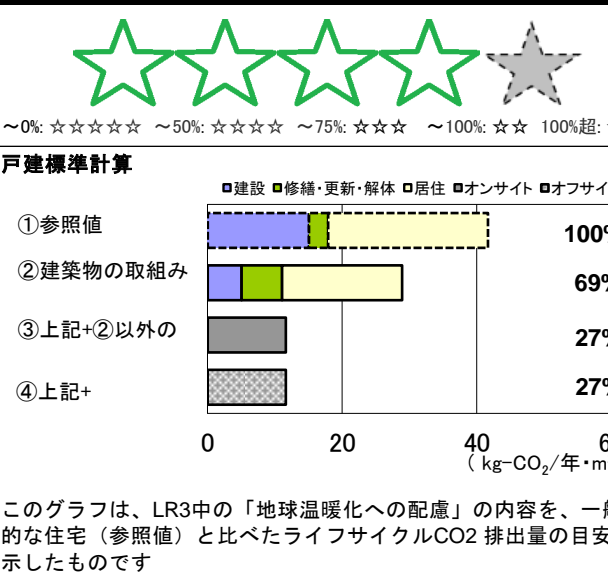
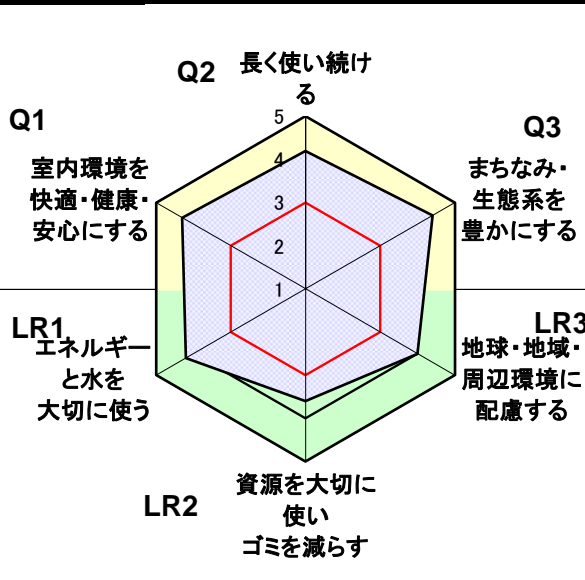
CASBEE® 戸建-新築

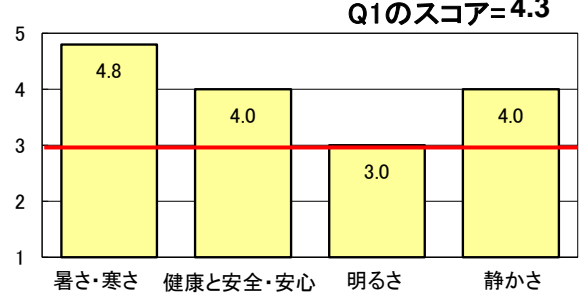
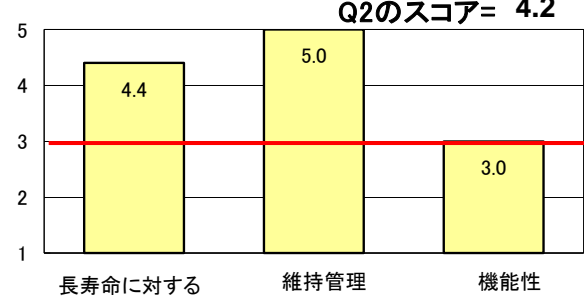
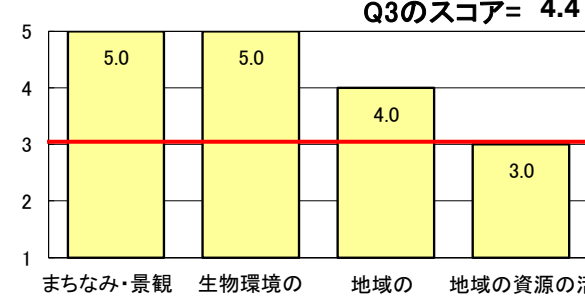
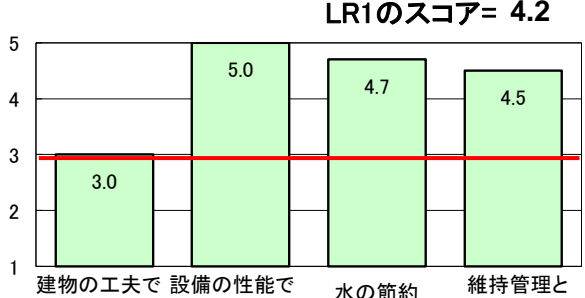
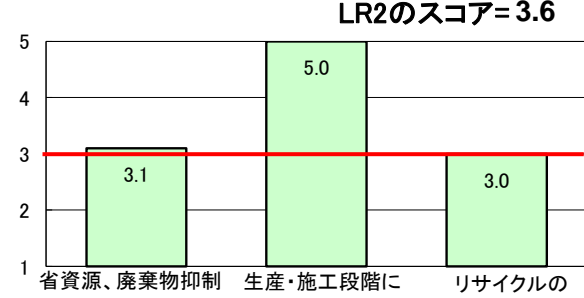
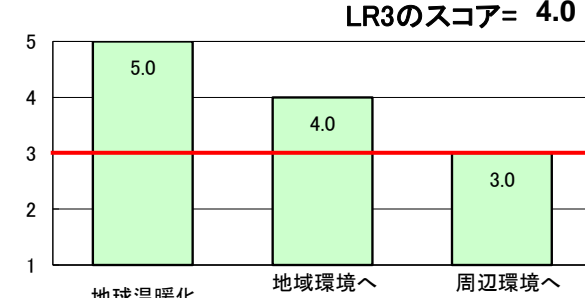
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	スマ・エコタウン晴美台19号地		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 一部確定
竣工年月	2013年11月	予定			
建設地	大阪府堺市南区晴美台1丁38番26				
用途地域	第1種中高層住居専用地域	確定			
省エネルギー-地域区分	IV				
構造・構法	鉄骨造	確定	評価の実施日	2013年7月16日	
階数	2階建て		作成者	羽賀 匠	
敷地面積	175 m ²	確定	確認日		
建築面積	62 m ²	確定	確認者		
延床面積	118 m ²				
世帯人数	4	確定			

2-1 すまいの環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
 <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)</p> <p>BEE=1.0</p> <p>Score: 3.1</p>	 <p>戸建標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 69% ③上記+②以外の 27% ④上記+ 27%</p> <p>単位: (kg-CO₂/年・m²)</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする (Score: 4.3)</p> <p>Q2 長く使い続ける (Score: 4.2)</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする (Score: 4.4)</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う (Score: 4.2)</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす (Score: 3.6)</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する (Score: 4.0)</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 4.3</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q1のスコア = 4.3</p>  <p>暑さ・寒さ (4.8), 健康と安全・安心 (4.0), 明るさ (3.0), 静かさ (4.0)</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q2のスコア = 4.2</p>  <p>長寿命に対する (4.4), 維持管理 (5.0), 機能性 (3.0)</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>Q3のスコア = 4.4</p>  <p>まちなみ・景観 (5.0), 生物環境の (5.0), 地域の (4.0), 地域の資源の活用 (3.0)</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.9</p>		
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>  <p>建物の工夫で省エネ (3.0), 設備の性能で省エネ (5.0), 水の節約 (4.7), 維持管理と運用の工夫 (4.5)</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>  <p>省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用 (3.1), 生産・施工段階における廃棄物削減 (5.0), リサイクルの促進 (3.0)</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>LR3のスコア = 4.0</p>  <p>地球温暖化 (5.0), 地域環境への配慮 (4.0), 周辺環境への (3.0)</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光による発電と断熱性能の強化等によりネットゼロエネルギー化を図っています。 	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー-地域区分はIV地域ですが、III地域対応の断熱仕様としています。 卓越風向を考慮した窓の設計を行っています。 	<p>Q2 長く使い続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 劣化対策、耐震、維持管理対策などの各項目で品確法上の最高等級としています。 	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の植生調査を行い、調査に基づいて植栽樹種の選定を行っています。 緑化率や舗装率に配慮しています。
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <ul style="list-style-type: none"> IV地域ですが、III地域対応の断熱仕様としています。 エアコンの能力選定をシステム化しています。 給湯は燃料電池式。照明器具はLED、洗面化粧台用を除きLED。太陽光発電を採用。 	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造躯体を工場生産によりプレハブ化し、施工現場での廃材発生等を抑制しています。 施工現場で発生する廃材や余剰材を回収、再利用する仕組みを導入しています。 	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水の地下浸透や地域自生種による植栽を行っています。



1. 建物概要	建物名称	スマ・エコタウン晴美台19号地	晴美台小学校跡地に建設する住宅の一つ	
	建設地	堺市南区晴美台1丁38番26	敷地面積	175.29㎡
建築面積/延べ面積/指定建ぺい率		62.29㎡ /	117.90㎡ /	60.00%

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	
省エネ対策	5	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	4	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE戸建(新築) 「LRH3-1」のスコアによる評価値	CO ₂ に関する部分 の評価	5.0	5	
省エネ対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
建物の断熱性による評価 CASBEE戸建(新築) 「LRH1-1 1.1」による評価	日本住宅性能表示基準 「5-1 省エネルギー対策等級」	等級4	4	5	5
設備の省エネルギー性による評価	高効率給湯器等の設置の有無	設置	1		
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
緑地内の緑化 CASBEE戸建(新築) 「QH3-2 2.1」による評価	緑地内の緑化を外構面積に対する 緑化面積の比率で評価する。	緑化面積の比率 50.1%	5	6	5
地表面被覆材に配慮し敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①敷地面積に対する舗装面積率 20% 未満 ②敷地面積に対する日射反射面積率 10% 以上	①舗装面積率 19.0% ②日射反射面積率 0.0%	1		
建築外装材料等に配慮し、敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①屋根面積に対する屋根緑化面積率 + 日射反射率又は長波放射率の 高い屋根材の面積率 20%以上 ②外壁面積に対する壁面緑化面積率 10% 以上	①対策を施した面積率 0.0% ②対策を施した面積率 0.0%	0		
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	合計値	評価点
バリアフリー対応による評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-3 3.2」による評価	日本住宅性能表示基準 「9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)」	等級1	1	6	4
自然災害に耐えることによる評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-1 1.4」による評価	日本住宅性能表示基準 「1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」	等級3	3		
地域の安全・安心への対応による 評価 CASBEE戸建(新築) 「QH3-3」による評価	【評価する取組み】 (CASBEE戸建-新築マニュアル参照) ①敷地内の避難ルート・消火活動空間の確保 ②防火性の高い植物の植樹 ③地域の避難路の確保 ④見通しの確保 ⑤自住戸や隣接住戸に侵入する足掛かりを 作らない配慮 ⑥その他の取組み	2つ	2		

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電、蓄電池、HEMS、EVコンセント	再生可能エネルギーの有効活用と見える化による省エネ行動の促進など。

特に配慮した事項

- ・『晴美台エコモデルタウン創出事業』の趣旨にのっとり、ネットゼロエネルギーハウスとして計画しています。
- ・当社独自の提案として蓄電池、HEMS、EVコンセントなどの先進技術の導入を図っています。